

事業シート(事業概要書)

1 事業名		公共下水道維持補修事業		2 事業開始年度	昭和57年						
3 担当部・課・担当名		都市建設部下水道課下水道管理担当		4 事業責任者	片野一正						
5 根拠法令等		下水道法第3条		(<input checked="" type="checkbox"/> 義務づけ <input type="checkbox"/> その他)							
6 総合計画	章	快適でにぎわいのあるまちづくり		7 実施方法	■ 直接実施						
	節	快適な生活環境の整備を進めます			■ 業務委託又は指定管理 (委託先: 別紙(次頁)参照)						
	項	下水道・河川の整備			■ 補助金(補助先: 雨水貯留槽設置者 <input type="checkbox"/> その他(
	小項目	公共下水道の整備									
	細項目	公共下水道の維持									
8 事業概要	① 目的 (何のために)	快適な生活環境並びに公共用水域の水質確保等、公共下水道がもたらした受益を今後も継続するために行う。(既存施設の機能確保並びに事故の予防)									
	② 対象 (誰・何を対象に)	下水道利用者43,604人(汚水H23・3・31)、全町民。									
	③ 事業内容 (手段・手法など)	汚水(委託・工事) ①水質検査業務。 ②管路清掃業務。 ③ポンプ維持管理業務。 ④流量測定業務。 ⑤ガス検知器保守点検。 ⑥汚水管占用に伴う借地料。 ⑦人孔蓋周辺の補修工事。 ⑧その他汚水施設に関する補修工事。	雨水(委託・工事) ①浚渫業務。 ②草刈り業務。 ③ゴミ揚げ業務。 ④フェンスの補修改修工事。 ⑤雨水貯留施設設置に対する助成。 ※別紙資料(当日)を配布します。								
	④事業の必要性	施設の老朽化及び増大するストック量への対応として、並びに下水道による受益を継続するために必要。									
9 コスト	① 事業費	37,287	千円	10 人件費	職員構成		概算人件費		投入人員		
					担当課職員 (再任用職員含む)	12,706	千円	2	人		
		② 人件費	12,706		千円	臨時職員	常勤の 3/4勤務	0	千円		人
		③ 総額	49,993		千円	日々雇用	0	千円		人	
11 事業費 (財源内訳)	年度	事業費計 (千円)		財源内訳(千円)							
		H20年度(決算)	47,810	国・県支出金	町債	その他	一般財源				
		H21年度(決算)	51,083			47,810					
		H22年度(決算見込み)	36,636			51,083					
		H23年度(予算)	37,287			36,636					
12 平成23年度 事業費内訳	需用費	881	※補足資料(次頁)参照								
	委託料	28,948									
	使用料及び賃借料	78									
	工事請負費	7,240									
	原材料費	50									
	負担金補助及び交付金	90									
	計	37,287 (千円)									

事業シート(事業概要書)

		活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)	
13 事業実績	①人孔周辺の補修工事	箇所		14	10	20	
	②管路清掃業務	m		564	645	287	
	③浚渫(土砂清掃)業務	m ³		150	190	165	
14 単位当りコスト	①人孔周辺補修工事1箇所当たり	箇所		323,775	389,550	255,675	
15 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	施設における安全性の確保、並びに下水道が有する汚水雨水の排除機能確保のために必要な業務を行った。結果、通常時において施設自体の不良を起因とした事故の発生は無かったが、油脂類の付着及び異物の流入による閉塞が3件、豪雨時の雨水侵入水による排水不良が1件生じている。今後は管渠閉塞や排水不良の発生ゼロを目標とする。						
16 成果実績		単位		H20年度	H21年度	H22年度(見込み)	
	管路等の閉塞による住民の下水排除支障発生件数	件		12	7	3	
	豪雨時の雨水侵入による排水不良	件		1	0	1	
17 事業の自己評価	① 課題等	老朽化施設についての対策及び予防保全的(計画的)な維持管理体制が確立されていない。					
	② 今後の方向性	下水道施設は増え続けると同時に老朽化が進んでいる。その増大とともに維持補修業務も拡大せざるをえない。そのような状況下、事業費を抑え継続して下水道の機能及び安全性を維持するためには、費用対効果の高い手法でなければならない。よって、今後は施設の現状把握に基づく維持補修内容の絞り込みを行い、経済性の考慮とともに長期的な視点から作成した計画により事業を進めたい。また、下水道の閉塞は使用方法に起因するケースが殆どであることから、下水道の適正な利用についても周知を図りたい。					
18 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	下水道長寿命化計画策定目標年度(相模川流域水道区域内9市3町の比較)						
		座間市	綾瀬市	海老名市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市
	計画策定予定	H24	H23基本計画	H24	H23	H23	H23
	厚木市	伊勢原市	平塚市	愛川町	大磯町	寒川町	
	計画策定予定	計画中	H24	H23	検討中	検討中	H24
19 特記事項 (事業の沿革等)	これまでに寒川町が整備した汚水管渠延長は約147km、雨水管渠は約13kmであり、総延長は約160kmとなっています。維持補修事業としては昭和57年から継続して実施しているところですが、平成36年には標準耐用年数の50年を迎える汚水管渠が生じ、現時点では適化法第14条に基づく処分制限期間を超える管渠が約70.5kmとなっています。今後は通常の維持管理はもちろんのこと、施設の延命化並びに改築が必要とされる状況となっています。						

公共下水道維持補修事業補足資料

8-③事業概要

汚水	事業	事業概要
①	水質検査業務	公共下水道施設の保護並びに、処理場の機能確保や放流水の基準超過を防ぐため。
②	管路清掃業務	下水道汚水管の定期的(閉塞予防)及び緊急時(閉塞)における清掃。
③	ポンプ維持管理業務	マンホールポンプ設置人孔内の清掃。
④	流量測定業務	寒川町から流域下水道へ流れ込む汚水量の測定。
⑤	ガス検知器保守点検	マンホール内のガス(酸素濃度、硫化水素、可燃性ガス)検知器の定期点検。
⑥	土地借上料	民地内占用管の借地料事務。
⑦	人孔蓋周辺の補修工事	公共下水道の人孔蓋及び周辺の不良箇所(段差・舗装の割れ)を補修する工事。
⑧	その他汚水施設に関する補修工事	公共汚水柵や管路の補修交換工事。

雨水	事業	事業概要
①	浚渫(土砂清掃)業務	雨水排水路内に堆積した土砂及び投棄物の清掃
②	草刈り業務	雨水排水路沿いの雑草刈り払い並びに、樹木剪定や害虫駆除。
③	ゴミ揚げ業務	雨水排水路の集塵スクリーンに付着したゴミの処分。
④	フェンス補修工事	雨水排水路沿いフェンスの補修並びに改修。(転落防止、不法投棄防止を目的)
⑤	雨水貯留施設設置に対する助成	雨水貯留槽設置者に対する助成制度。

12 平成23年度事業費内訳

汚水	事業	事業内訳
①	水質検査業務	9事業場、検体数698。事業費 1,400千円。(随契)(H22実績:(財)神奈川県下水道公社)
②	管路清掃業務	伏越人孔2箇所、伏越管路46m、一般管路200m、洗浄工1,000m。事業費 1,043千円。(一般競争)(H22実績:(株)サンエーサンクス)
③	ポンプ維持管理業務	マンホールポンプ設置人孔の清掃、3箇所×12回 事業費 1,270千円。(一般競争)(H22実績:(株)サンケイ)。ポンプ点検 3箇所×1回 事業費 375千円。(随契)(H22実績:新明和アークテクサービス(株))
④	流量測定業務	流量計12箇所の流量計測及び報告書作成。事業費 6,360千円(随契)(H22実績:(株)ダイワ)
⑤	ガス検知器保守点検	消耗品の交換及び保守点検1台。事業費 44千円(随契)(H22実績:理研計器(株))
⑥	土地借上料	2箇所。借地料 77千円。
⑦	人孔蓋周辺の補修工事	県道及び町道20箇所(昼夜施工) 事業費 4,590千円。(一般競争・随契)(H22実績:相模開発(株)他)
⑧	その他汚水施設に関する補修工事	柵・管路等補修 事業費 450千円。(一般競争)(H22実績:(有)野口興業)

雨水	事業	事業内訳
①	浚渫(土砂清掃)業務	2路線、浚渫量180m ³ 。事業費 10,000千円。(一般競争)(H22実績:(株)サンエーサンクス)
②	草刈り業務	9路線、36,000m ² 。事業費 5,500千円(一般競争)(H22実績:(株)ウスイ植物園他)
③	ゴミ揚げ業務	集塵スクリーン6箇所×23回。事業費 2,500千円。(一般競争)(H22実績:クリーン寒川(有))
④	フェンス補修工事	H=1.2m~1.5m L=220m。事業費 2,200千円(一般競争)(H22実績:(有)青木造園)
⑤	雨水貯留施設設置に対する助成	3万円×3件。事業費 90千円。

下水道施設整備状況

